

日本調剤株式会社様 「処方箋OCRシステム」のクラウド・運用サービス

「処方箋OCRシステム」のクラウド・運用サービスを開始



処方箋OCRシステムは受付に設置



導入されている日本調剤 麻溝薬局



3台設置された処方箋OCRシステム

概要・特長

日本調剤株式会社様は現在、全国に498店舗の調剤薬局を展開しており、昨年度より「処方箋OCRシステム」の導入を進められ、2014年6月末までに31店舗、40システムが導入されました。

すでに導入されている「処方箋OCRシステム」の特長は、店舗で扱う複数パターンの処方箋フォーマットを自動判別し、画像処理技術により、スキャナでの処方箋読み取り時の画像位置ずれや角度補正を自動で実施します。

また、処方箋台紙のコピーガードや印鑑、ノイズを除去し、最適な二値化処理で文字認識精度を向上させている他、処方箋毎で異なるレシピ記載内容(薬品名、用法など)のレイアウトを解析し、様々な処方箋フォーマットに対応できるようにしています。

さらに、レセプトコンピュータとマスターデータを連携し、薬品など処方箋の記載項目ごとにデータベースと照合させて、認識率を向上させる自己学習機能を搭載しています。



受付で患者様から処方箋を受け取り



処方箋をスキャナで読み取る



広く清潔な調剤薬局(日本調剤 麻溝薬局)のお薬渡し場所

そして 2014 年 6 月より新たに、「処方箋 OCR クラウド・運用サービス」が全システムに導入されました。
 これは、薬局店舗とのネットワークを構築し、新規処方箋フォーマットのリモート登録や、約 6 万点ある薬品マスタの追加・削除などの管理や各種マスタデータの作成を行い、各店舗へ配信を実施するものです。
 また認識率維持のための独自辞書メンテナンス・更新や導入後の運用サービスもおこなっています。

<サービス内容>

1、新規処方箋フォーマット登録サービス

店舗で読み込まれた新規処方箋を検出した際、クラウド環境で、フォーマットデータの新規作成、店舗への配信を行う。

2、自己学習・マスタ更新サービス

処方箋に新しい医薬品名・用法、また診療科の記載があった場合、店舗に設置された処方箋 OCR PC から処方箋管理サーバに通知し、処方箋管理用サーバにて各種マスタデータを更新し、店舗への配信を行う。

3、アプリケーション配信サービス

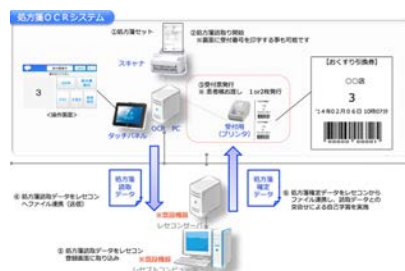
処方箋 OCR のアプリケーションがバージョンアップされた場合、最新のアプリケーションを店舗へ配信を行う。

4、データバックアップ・復旧サービス

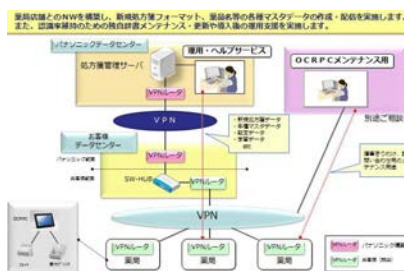
店舗に設置された処方箋 OCR システムの環境情報、自己学習データを定期的にバックアップし、障害時にデータ復旧を行う。

5、ヘルプデスクサービス

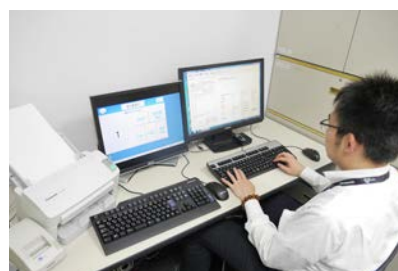
システムに関するご質問や操作方法など店舗からの問い合わせに対応する。



処方箋OCRシステム構成



処方箋OCRシステムクラウド
 ・運用サービス ネットワーク構成



運用サービスは弊社システム技術センターが担当

主な納入機器

- ・ 40システム：機器構成・PC (Windows7)
- ・ スキャナ・受付プリンタ
- ・ タッチパネル

この他の導入事例は[こちら](#)からご覧いただけます

お問い合わせは

パナソニック
 システムお客様ご相談センター

0120-878-410 受付：9時～17時30分
 (土・日・祝祭日は受付のみ)
 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

パナソニック システムネットワークス株式会社 システムソリューションズジャパンカンパニー 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 汐留浜離宮ビル

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

SSJ-JJ4D401-14

発行：2014